

# サテライト企画

共催：ベルリン自由大学日本語教育の会

(Verein zur Förderung des Japanischunterrichts an der Freien Universität Berlin e.V.)

協力：ベルリン自由大学歴史文化学部日本学科

会場：JaH と同会場

Freie Universität, Fachbereich Geschichts-und

Kulturwissenschaften, Raum 2.2059,

Fabeckstr. 23-25,14195 Berlin

## 企画①

### 第4回 JaF-DaF Forum (旧 JaF trifft DaF)

#### (日本語・ドイツ語教育者フォーラム)

主催：JaF-DaF Forum 実行委員会

この会は、ドイツにおける日本語教育および日本におけるドイツ語教育の現状、問題点について情報交換を行ない、今後の国際交流、研究協力等に関する自由な意見交換、ネットワーク作りの場とすることを目的としています。また、日独の共同プロジェクト等、実践報告の発表を募集いたします。

ドイツ語教育、日本語教育等に関心のある方、日独の共同研究に興味をお持ちの教員、学生の方の参加をお待ちしております。

発表の申し込みは、林良子（神戸大学 [rhayashi\[at\]kobe-u.ac.jp](mailto:rhayashi[at]kobe-u.ac.jp)）または杉原早紀（ハンブルク大学 [saki.sugihara\[at\]uni-hamburg.de](mailto:saki.sugihara[at]uni-hamburg.de)）へ、タイトルと簡単な概要（100～200字程度）を1月15日までにお知らせください。

日時：2017年3月3日（金） 10:00-12:00

## 企画②

# 批判的談話研究（批判的談話分析）ワークショップ

Workshop : Kritische Diskursstudien (Kritische Diskursanalyse)'

主催：民主的シティズンシップ教育と日本語教育を考える教員・研究者の会

今回の JaH シンポジウムの招聘講師である福島青史氏の依頼で、批判的談話研究ワークショップを開くことになりました。批判的談話研究は、JaH のテーマである『異文化間教育』に大きく関わり得るという理由からです。欧州評議会、したがって、その下位組織である言語政策部門においても人権、民主主義、法の支配という価値観を中心に、その確立のために活動していますが、批判的談話研究もそうした価値観を基本として、それに反するような談話の動きに目を向けます。たとえば、メディアやメディアを通して公的に発表される談話を対象として読み解いていき、その特徴の可視化を試みます。日本語教育においても批判的談話分析からの新しい視点が得られ、学生間の活発な議論が促されるかもしれません。

午前の部では、批判的談話分析の概略を説明し、日本語教育とのかかわりについて考えます。また、ヨーロッパや日本における分析例を紹介します。午後は、ファシリテーターの用いるデータの分析の後、参加者のみなさんに分析を進めていただいたり、授業への応用を考えていただいたりします。会場 1 では、ファシリテーターの示す分析をより詳細に分析していきます。会場 2 では、日本語教育への授業の応用を考えていきます。

日時：2017年3月6日 10:00—15:30

場所：JaH と同会場とその隣の教室

プログラム：10:00—10:30 批判的談話分析概論（野呂）

10:30—11:00 日本語教育と批判的談話分析（名嶋）

11:00—11:10 休憩

11:10—11:40 排他主義関連の分析例（野呂）

11:40—12:10 原発関連記事の分析例（神田）

12:10—13:00 昼食（各自ご持参ください。）

13:00—15:30 ワークショップ（途中休憩も含む）

【会場 1: 2.2059】批判的談話分析の実践（神田・野呂）

【会場 2: 2.2058】批判的談話分析を日本語教育の授業に生かす（名嶋・三輪）

### [参考文献]

名嶋義直・神田靖子編著（2015）『3.11 原発事故後の公共メディアの言説を考える』ひつじ書房

名嶋義直編著（2016）『メディアのことばを読み解く7つのこころみ』ひつじ書房

野呂香代子（2014）「批判的談話分析」『講座ドイツ言語学 第3巻 ドイツ語の社会語用論』ひつじ書房

ルート・ヴォダック／ミヒャエル・マイヤー編著、野呂香代子監訳（2010）『批判的談話分析入門 ―クリティカル・ディスコース・アナシシスの方法』三元社

## 企画③

### 座談会：

# 「複言語・複文化キッズのことばについて考える一家庭でどのような支援ができるのかー」

**Zum Spracherwerb von plurilingualen und -kulturellen Kindern: Wie können ihre Eltern sie zu Hause unterstützen?**

主催：もっと・つなぐ

後援：ドイツ共益社団法人 日本文化普及センター

日時：2017年3月6日（月） 16時～18時／19時

#### 概要：

「複言語・複文化キッズ」とはどのような子どもたちなのか、改めて皆さんと考えてみたいと思います。そして、さまざまなプレッシャーから子どもたちを解放し、その子一人ひとりが自分の「輝き」を放てられるような支援として、まずは親である私たちに家庭でどのような支援ができるかについて考えます。その一つの可能性として「親子の対話を促すポートフォリオ」の作成を提案し、そのあり方、使い方などについて皆さんと考えたいと思います。